慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	渡部直樹教授退任記念号の刊行にあたって
Sub Title	
Author	金子, 隆(Kaneko, Takashi)
Publisher	慶應義塾大学出版会
Publication year	2015
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.58, No.2 (2015. 6)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	渡部直樹教授退任記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20150600--003

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

渡部直樹教授退任記念号の刊行にあたって

渡部直樹先生は2014年３月31日をもって定年を迎えられ，慶應義塾大学商学部を退任されました。商学会ではこれを記念して『三田商学研究』第58巻２号を渡部直樹教授退任記念号として刊行する運びとなりました。この機会に渡部先生のご功績をあらためて紹介させていただきます。

渡部先生は，1972年に慶應義塾大学商学部をご卒業後，ただちに同大学院商学研究科に進学され，博士課程在籍中の75年４月に商学部助手に採用されました。その後，助教授を経て，92年に教授に就任されました。そして，40年にもおよぶ長きにわたり，商学部ならびに慶應義塾の研究・教育・大学運営に多大な貢献をされました。

渡部先生のご専門は，経営学の中でも特に，現代経営学説史，組織の経済学，意思決定論，社会科学方法論，経営学方法論であり，これらの分野で質の高い研究業績を数多く発表してこられました。

門外漢の私に渡部先生のご研究を論じる資格はございませんが，同じ分野の研究者からいかに高い評価を受けているかは，先生の学会活動を見れば明らかでございます。たとえば，日本経営学会，経営哲学学会，日本ポパー哲学研究会では長いこと理事として組織の運営にあたられ，2010年から４年間，経営哲学学会の会長もお務めになりました。

渡部先生は科学哲学にも強いご関心をお持ちで，二度にわたるイギリス留学では，批判的合理主義の提唱者であるカール・ポパーとその後継者たちの教えを受けるためにロンドン・スクール・オブ・エコノミクス（LSE）を訪問され，徹底して科学哲学を研究してこられました。その後，研究・教育・そして学内行政という実践の場で，批判的合理主義の精神をいかんなく発揮しておられます。

また，LSE に留学されていたことから，LSE Society Japan の運営にも積極的に関わられ，日英間の学術交流の深化と発展のために多大な貢献をされました。

教育の面でも，ご担当の経営学関連の授業や研究会（ゼミ）を通して，多くの優れた学生を社会に送り出してこられました。また，大学院においては後進の指導に熱心に当たられ，門下からは多くの優秀な研究者が輩出しています。

一方で，渡部先生は，学内行政の面でも多大な貢献をされました。商学部において学習指導主任，入試事務長，人事委員会幹事などの大役を果たされただけでなく，大学内においては，学生総合センター学生部門副部長，就職部長などの重責を担われました。そして，2009年から現在に至るまで，慶應義塾常任理事として清家塾長を支え，義塾全体の円滑な運営と発展のために献身的にご尽力いただいております。

個人的には，渡部先生と37年来の親しいお付き合いをさせていただいております。渡部先生は，じつに気さくでユーモアのセンスに溢れた方であり，周りの人を飽きさせることがありません。親父ギャグを連発して私をよく困らせてくれます。その一方で，何を言っても受け止めてくれる懐の深さがございます。

また，ご趣味では音楽をこよなく愛し，ご自身でビオラやバイオリンやピアノの演奏をなさいます。とりわけビオラは玄人はだしであり，私も二度ほど先生の演奏をお聴きする機会がございましたが，これがふだん親父ギャグを連発しているあの渡部さんかと，ギャップの大きさに驚いた記憶がございます。

このように，渡部先生は，私どもにとって本当に愛すべき先輩であり，頼り甲斐のある先輩であります。その渡部先生が昨年３月末をもって商学部を退任されたのは，私どもにとって大変残念なことであり，大きな損失であります。

ただ，商学部の籍は外れても，常任理事として学校法人慶應義塾には引き続き籍を置かれており，そのことは私どもに大きな安心感を与えてくれています。これからもご健康に留意され，義塾の健全な発展のために尽くしてくださることを強く願っております。

商学部では，渡部先生のこれまでのご功績をたたえるべく，2013年12月の教授会で名誉教授に推薦することを満場一致で決定いたしました。学部を代表して，これまでのご貢献に心から感謝申し上げます。そして，今後益々のご活躍をお祈りするとともに，これからも後進を温かく見守ってくださるようお願い申し上げ，私からのご挨拶とさせていただきます。長いこと本当にありがとうございました。

2015年４月

商学部長　金　子　　隆